

会津ロジカルオーガニック農業推進協議会

(福島県会津若松市・会津美里町・喜多方市・南会津町)



【協議会設立の背景・経緯】

- 背景 慣行的な主従関係の農業から科学的根拠に基づく、自立安定型農業を切望していた若手4名を中心に、補助事業の採択に意欲を示し、取り組みの原動力となった。
- 経緯 平成29年2月に組織した「GAP推進あいづ会」の会員等に働きかけを行ない、グローバルGAP認証（11名が取得済み）に加え、更なる販路拡大への優位性を図り、有機農業者間の所得向上を目指すことになる。
- 構成員 当会は、生産者11名、実需者3名、市町村関係者1名
その他1名の、計16名にて発足。
なお、生産者11名の内訳は、新規就農者4名・転換者4名
実践者3名。

会津ロジカルオーガニック農業推進協議会

(福島県会津若松市・会津美里町・喜多方市・南会津町)

【取組の特徴】

■ 有機農業を希望する新規就農者に研修ほ場を設置

1. 野菜の花芽栽培技術研修 2日間

(会津若松市 2a)

2. 太陽熱養生処理法の研修 2日間

(喜多方市 5a)

3. 土壌診断（施肥設計）と生長管理技術研修 2日間

(会津若松市 6a)

【取組の特徴】

■ 有機農業に転換した就農者の堆肥センター研修

- ・ 地元にある有機資源を活用した堆肥づくり技術

研修

2日間

- ・ 生産者等参加者数の目標 8日間 120名

- ・ 生産者等参加者数の実績 8日間 162名

⇒ **目標の135%**

- ・ 有機農業の取組面積

令和2年の見込み面積 約1.5倍

【取組の成果】

■ 有機農業取組者数

- ・ 平成30年度：新規者 4 人、転換者 4 人
- ・ 令和元年度：新規者 5 人、転換者 6 人

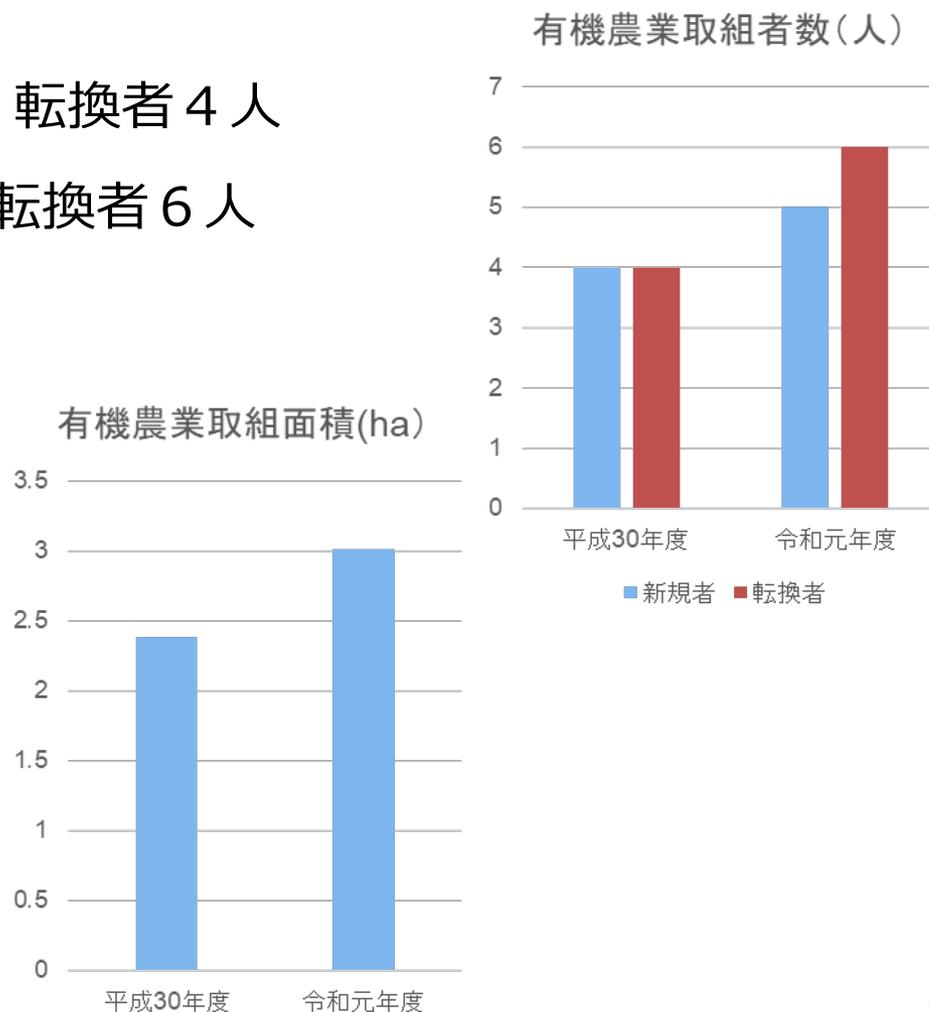
(当初比 137%)

水稲、ミニトマト
など

■ 取組面積

- ・ 平成30年度：2.38 ha
- ・ 令和元年度：3.01 ha

(当初比 126%)



【有機栽培技術力向上のための取組】（1 / 2）

取組のポイント

■ 講師招へい 4回（うち実践者 2回）

1. 野菜の花芽栽培技術研修を7月に2日間実施し、実践者から炭水化物重視の技術を学んだ。
2. 太陽熱養生処理法の研修を8月に2日間実施し、水と温度と微生物の働きを学習した。



【有機栽培技術力向上のための取組】 (2 / 2)

取組のポイント

3. 土壌診断（施肥設計）と生長管理技術研修を
10月に2日間実施し、病気や害虫被害の発生と
対策について実践者を交え学習。
4. 有機農業に転換した就農者等を対象に有機堆肥
づくり研修を12月に2日間実施し、有機物の分
解と微生物の働きから有効な堆肥の見分け方を
学習。

【安定供給体制構築のための取組】 (1 / 3)

取組のポイント

1. 実需者を招へいし、産地の実情と有機農産物の販売動向及び流通について意見交換会を9月から11月まで4回実施し、消費者ニーズの理解を深めた。
2. 首都圏等に販売拠点を持つ山形県の有機農業法人を9月に訪問し、今後の事業推進体制づくりの参考とした。



【安定供給体制構築のための取組】 (2 / 3)

取組のポイント

3.生産された地元の有機農産物を調理し、地域の学校給食関係者や一般の消費者と試食による意見交換会を11月に行い、販売専門店の開設などの必要性を確認。



4.会員の個々の問題に向き合い、協議会の結束力を高めるため7月から12月まで、4回の検討会を実施した。

【安定供給体制構築のための取組】 (3 / 3)

取組のポイント

5.本取り組みの全体的な振り返りと、地域への周知を目的に、公開の発表会&意見交換会を1月に実施。



会津ロジカルオーガニック農業推進協議会
(福島県会津若松市・会津美里町・喜多方市・南会津町)